
魔術師の物語

Spiral

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔術師の物語

【Nコード】

N0585R

【作者名】

Spiral

【あらすじ】

「転生すれば？」あまりにも悲惨な人生を見かねた神から、そう言われた少年「神矢永司」魔法が当たり前の世界でどう生きていくのか？

主人公最強ものです。

序章

十二年前

・・・親友が死んだ。

「永ちゃん、バスが落ちたらしいの。皆、死んじゃったのよ。」

当時四歳の俺は、明確に「死」というものを理解していなかったらしい。だから、母親の言ったことが分からなかった。

「ねえ、ママ。しんだってなに？どうしたの？」

「死ぬってことはね、もう二度と会えないってことなんだよ？」

俺は「二度と会えない」という言葉に反応したんだろう。大泣きしたと、母さんは語った。

現在

屋上に一人の少年が佇んでいた。

「・・・母さん、黒神。」

少年は丁度昨日、母親を亡くした。

少年は父親の顔を知らない。少年が生まれる前に死んだらしい。

母親が病魔に侵されたのは、少年が五歳の頃だった。

しかし、預けられた孤児院では、まさに地獄が繰り広げられた。

奴隷のような扱いを受け、性欲異常者と、その同性愛バージョンがいたため、気に入らない少年、少女は皆、精神的に壊されていった。

少年が入ったころは、200人余りいたのが、警察が踏み込んだ時は五人本人を入れて五人ほどしか精神的に無事な子供はいなかったのだ。

それが原因で、学校でもイジメを受けた。

「今、そっちにいくよ。」

少年の精神は限界が近かった。屋上から、飛び出した。

ダウン！

その音とともに、少年の人生は幕を閉じた。

序章（後書き）

よろしくお願ひします。

神

「・・・どこだ？ここ。」

少年は自分の体を確かめ、あたりを見渡した。

「残念だけど、まだ母親の所に逝っちゃうには早いよ？」

うしろには、自分と同じ青い髪の少女がいた。

「・・・君は？」

「私は神様。あなたをここに連れて来たのは私。使命は人を幸福にすることなの。」

「・・・幸福に・・・」

少女は名簿を取り出した。

「本当はこんなことできないんだけど、あなたの人生の悲惨っぷりを見て、名簿にコーヒーかけて神様のミスで死んだってことにしたのよ。こうすればイヤでも神様はその人物を能力値最大にして転生させなきゃいけないって規則があるの。」

名簿にはコーヒーのシミがある。そこに自分の名前があったのだらう。

「でも、現に俺はどうみても自殺・・・」

「実はね、あなたは地面に落ちる前に心臓発作で死んでるの。だから問題ないわ。」

幸福の神は自慢げに話す。

「悪いけど、転生する世界はこちらで決めといたわ。魔法とか当たり前にあるから楽しいと思うわよ。そこで満足に生きてから、母親に会ってね。じゃ、いっくよー！」

「ちよっまだ俺は行くとは一言も・・・」

その言葉は虚しく少年の足元に空いた穴に消えていった。

「にしても、転生先が同じだなんて……どうしてるのかな？黒神君は。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0585r/>

魔術師の物語

2011年10月8日19時18分発行